Denkei

2026 年 11 月 10 日

各　位

会 社 名　日本電計株式会社
代表者名　代表取締役社長　和田　史宣
（コード：9908・スタンダード市場）
問合せ先　専務取締役管理本部長　秋山　昌彦
（TEL. 03-5816-3551）

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえて、2026 年 5 月 13 日に「2026 年 3 月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

（1）修正内容

【2027 年 3 月期通期連結業績予想の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	136,000	5,200	5,200	3,500	309.43
今回修正予想（B）	143,000	5,620	5,570	3,600	317.05
増減額（B-A）	7,000	420	370	100	
増減率（%）	5.1	8.1	7.1	2.9	
（ご参考）前期実績（2026 年 3 月期）	133,148	4,972	5,078	3,651	322.82

（2）理由

当社を取り巻く経営環境は、ＡＩ関連需要の拡大に伴い景気は緩やかな回復が続く一方、中東・イラン情勢を受けたエネルギー価格の上昇や円安等を背景に物価高が進展し、インフレ懸念は高まっております。また、主要国の利上げや財政不安等を背景とした世界的な金利上昇、各国・地域における地政学的緊張の継続、中国・欧州の経済停滞、人手不足等、先行きの不確実性は高い状況が続いております。

当社グループでは、2030年を見据えた成長戦略「INNOVATION2030」の第２期となる中期経営計画「INNOVATION2030 Ver.2.0」の最終年度として、これまでに構築してきた基盤を礎に更なる進化を図っております。今期につきましては、将来に向けた設備投資や研究開発投資が底堅く推移する中、お客様の動向を的確に捕捉することで、受注は好調に推移しております。本日開示いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）決算短信におきましても、業績は増収増益を確保し、当初計画した業績予想を上回る結果となりました。こうした状況を踏まえて、2026年５月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正について

（1）修正内容

【2027年３月期の配当予想の修正】

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 （2026 年 5 月 13 日公表）			－	55.00	109.00
今回修正予想			－	57.00	111.00
当期実績	－	54.00	－		
前期 2026 年３月期実績	－	43.00	－	54.00	97.00

（2）理由

当社は、業績・財務状況等を総合的に勘案し継続的かつ安定的な配当を実施すること、連結の配当性向35%程度を目途とすること、を配当政策の基本方針としております。

前述の通り、今期の連結業績が堅調に推移していることや、内部留保の蓄積が進み自己資本比率が安定的に推移していること等を踏まえ、2027年３月期の期末配当を、前回予想の55円から２円増配して57円とさせていただく予定です。

従いまして、当期の年間配当は、中間配当54円、期末配当57円の年間111円、前期比14円の増配となる見込みであります。

今後も業績の向上による利益確保に努めるとともに、株主様への積極的な利益還元を検討してまいる所存であります。

以上